

GHSI における今後の優先課題と取り組み

GHSI では 2010 年より、「3 カ年戦略アプローチ」を採用し、以下の項目を優先課題として領域横断的な課題に取り組んでいる。

優先課題	主な内容
脅威・リスク評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップ等を通じた脅威・リスクの共通評価手法の開発 ・ 化学物質のリスク優先順位評価ツールの作成
パンデミック インフルエンザ	<ul style="list-style-type: none"> ・ H1N1 (2009) 対応から得られた教訓のオールハザード対応への還元 ・ 各国のパンデミックインフルエンザ対策の共有 ・ 迅速な検知能力の開発 ・ サーベイランス情報の迅速な共有
リスク・クライシス コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスクコミュニケーションガイドラインの開発 ・ ソーシャル・メディアによるリスク・クライシスコミュニケーションガイダンスの開発
対抗医薬品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各国の事前準備状況の比較評価 ・ 国際的な公衆衛生緊急事態における対抗医薬品共有に向けた取り組み（規制・法的問題の議論等）
ラボ検査対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ オールハザード対応（CBRN）に向けた国際ラボネットワークの構築に向けた取り組み
国際保健規則 （IHR）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際保健規則（IHR）強化に向けた GHSI の取り組みの還元
除染	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に化学物質に対するヒト除染に関する経験とエビデンスのワークショップ等を通じた共有
早期警戒報告（EAR） （2011 年より）	<ul style="list-style-type: none"> ・ CBRN 事象の早期警戒・報告のための共通プラットフォームの作成とこれを利用したリスクマネジメントの実施